

クールジャパン推進会議の開催

クールジャパン推進会議の開催 (H25.3~5)

- 稲田クールジャパン戦略担当大臣を議長として、発信力強化を目的とした、クールジャパン推進会議を設置
- 会議メンバーは、日本文化の第一人者である民間議員7名及び関係府省の副大臣等
【民間議員】
秋元 康氏(作詞家)、角川 歴彦氏(角川HD会長)、金 美齢氏(評論家)、コシノ ジュンコ氏(デザイナー)、佐竹 力総氏(日本フードサービス協会理事)、千 宗室氏(茶道裏千家家元)、依田 巽氏(ギャガ(株)会長兼社長CEO)
- 計4回の会議を実施。第4回会合(5月28日)において「アクションプラン」を取りまとめた。

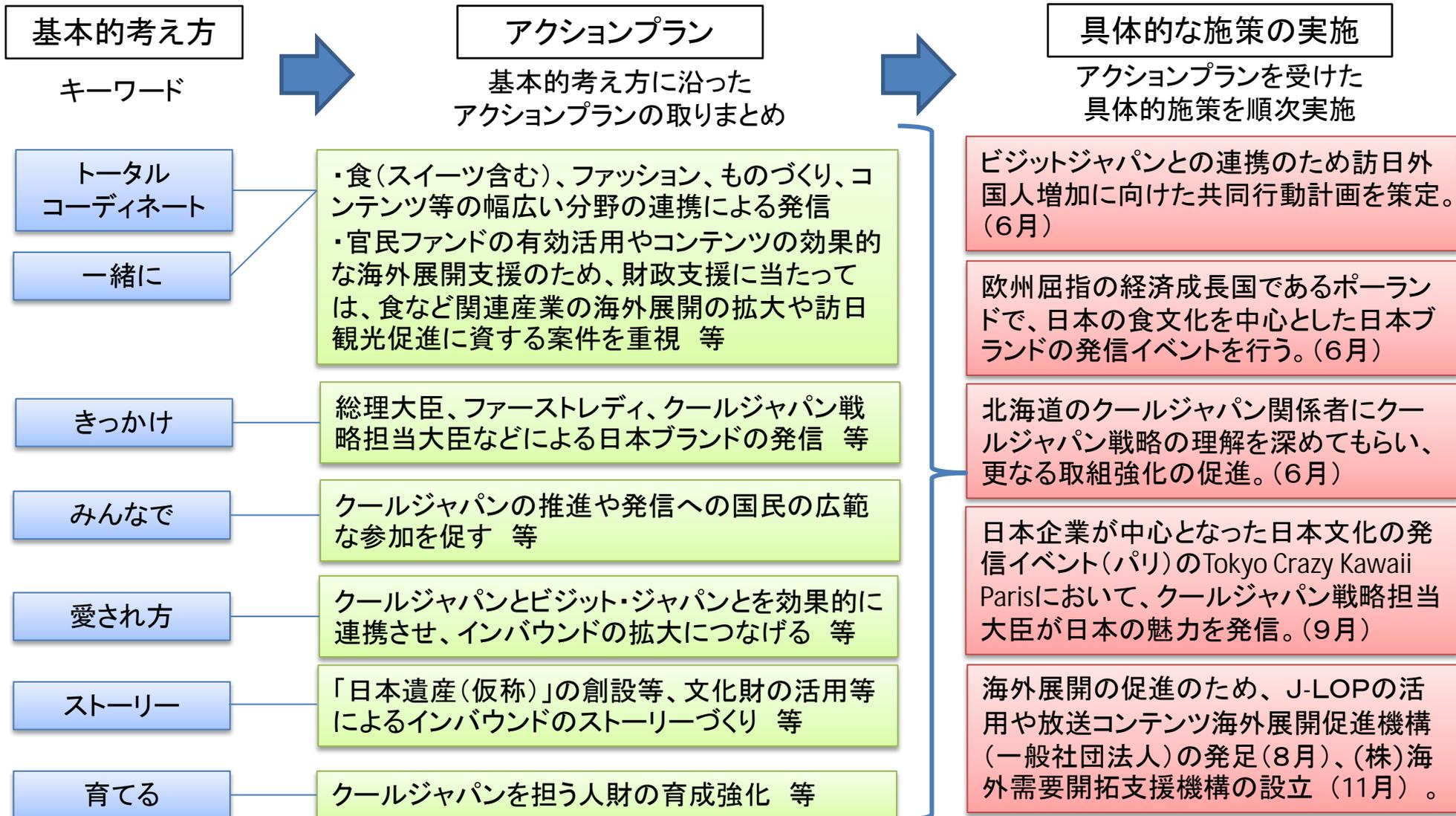
報告・反映

ポップカルチャーに関する分科会の開催 (H25.4)

- 発信力の強化方策について、若者の視線による検討を行うため、推進会議の下に分科会を設置
- 会議メンバーは、ポップカルチャーの第一線で活躍している民間委員4名
【民間委員】
中村 伊知哉氏(議長:慶應義塾大学大学院教授)、河瀬 直美氏(映画作家)、樹林 伸氏(漫画原作者)、齋藤 茂氏(株トーセ社長)
- 計2回の会議を実施。分科会で取りまとめた提言の内容をクールジャパン推進会議で報告。

「基本的考え方」と「アクションプラン」

第4回クールジャパン推進会議(5月28日)において、議長(稲田大臣)から「基本的考え方」を提示するとともに、具体的な「アクションプラン」を策定。今後、関係府省連絡会議(政務官主催)なども通じて「アクションプラン」に沿った具体的な施策をしっかりと実施していく。



三. 国際展開戦略

2. 海外市場獲得のための戦略的取組

③クールジャパンの推進

伝統文化・地域文化など、日本の豊かな文化を背景としたコンテンツ、日本食・日本産酒類などの「日本の魅力」を効果的に発信し、産業育成や海外需要の取り込みに結実させるため、クールジャパンを国家戦略と位置付け、官民一体となって取組を強化する。

○発信力の強化

・「クールジャパン推進会議」における提言等を踏まえ策定された「アクションプラン」に沿って、食、日本産酒類、ファッション、ものづくり、コンテンツ、伝統文化等の連携により、主要な国際会議・イベント等において「日本の魅力」を効果的に発信し、外国人の共感と参加を得て、クールジャパンを支える優れた「人財」の育成等を推進する。

第5回アフリカ開発会議（TICADV）における発信

「アクションプラン」に基づく取組の第1弾として、第5回アフリカ開発会議（TICADV）の公式イベントであるアフリカン・フェア2013（※）のオープニング・セレモニーに稲田クールジャパン担当大臣が出席。アフリカ各国の首脳に対し、大臣自らが先頭に立って日本の魅力を発信。



（アフリカ各国首脳とステージに立ち挨拶）



（アフリカ各国首脳と鏡割りに参加）



（ヘアウィッグ製品のブースを視察）

（※）アフリカン・フェア2013とは

アフリカン・フェア2013は、アフリカ産品やビジネス情報を紹介するTICADVの公式イベントとして、経済産業省とJETROが主催。出席者は、アフリカ各国要人、各国大使館・政府関係者等で、会場にはクールジャパンを題材にして日本製品を紹介するコーナーを設置。

Tokyo Crazy Kawaii Parisにおける発信

Tokyo Crazy Kawaii Paris(※)を視察するとともに、この機会を活用して食やファッションなどの日本の魅力を発信するため、和装・洋装で、日本食の試食や新作ゲームのデモンストレーションなどを実施。本イベントは、初めての開催にも関わらず3日間で合計2万人の来場者があり、約10億円の広告効果。



(着物でラーメンを試食)



(着物でゲームを体験)



(ゴスロリ衣装で記念撮影、多くの来場者、記者に囲まれる。)

(※) Tokyo Crazy Kawaii Parisとは

従来からパリではフランス人・企業によるサブカルチャー中心の日本文化の紹介イベントであるJapan Expoが行われてきた。

これに対し、電通や大日本印刷など日本企業中心の実行委員会が主催し、食、音楽、ファッション、ゲーム、伝統工芸品など日本の様々な文化や産業を紹介するイベントとしてパリで開催したのがTokyo Crazy Kawaii Parisであり、9月に初開催。

車座ふるさとトークにおける発信

北海道札幌市において車座ふるさとトーク(※)を実施。参加者からは、「日本人にとって良いものだけでなく、現地のニーズをつかみ、現地の顧客にとって魅力的なもの売り込む必要がある」などの意見があり、これに対して「北海道、札幌はまさにクールジャパン戦略を先取りした形で取り組んでいる。政府として支援して、皆さんと一緒に取り組んでいきたい」と発言。



(冒頭での挨拶)



(参加者からの意見の様子)

(※)車座ふるさとトークとは

車座ふるさとトークは、安倍内閣の大臣等が地域に赴き、テーマを決めて、現場の方々と少人数で車座の対話を行い、生の声をつぶさに聴いて、政策にいかすとともに、重要政策について説明するもの。

地方版クールジャパン推進会議の開催

地方版クールジャパン推進会議

- 稲田大臣が地方都市に赴き、「地方」あるいは「外国人」といった切り口で「地方版クールジャパン推進会議」を開催し、海外展開の成功事例や課題、行政への要望などについて議論する。
- 地方からクールジャパンに関する国民の参加を促しつつ、地域に眠るクールジャパン資源を掘り起しを行いつつ、各地方での異業種連携や地域間連携につなげていく。

【第1回開催概要】

日時: 12月14日(土)、15:30~17:30

場所: 京都府 宝厳院(ほうごんいん)

出席者: 稲田大臣、京都においてクールジャパンの各分野で取組まれている方々

- | | |
|--------------------------------|--------------------------|
| ・中村伊知哉(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授) | ・渡邊 博司(渡文(株) 取締役)(西陣織) |
| ・竹宮恵子(マンガ家、京都精華大学マンガ学部教授) | ・細尾 真孝((株)細尾 取締役)(西陣織) |
| ・高橋 剣(東映(株)京都撮影所 制作部次長) | ・竹田 正俊((株)クロスエフェクト代表取締役) |
| ・長慶寺 久仁子(向井酒造 女性杜氏) | ・武智 美保((有)ミホプロジェクト代表) |
| ・村田 吉弘((株)菊乃井 代表取締役) | ・ベルトラン・トマ((株)BERTRAND代表) |
| ・高橋 拓児(木乃婦 三代目若主人) | ・白須 正(京都市産業観光局長) |
| | ・山下 晃正(京都府副知事) |